公表年月日：平成３１年２月８日

提案団体名：　森ビル株式会社

〇提案内容

（1）自社の保有するスマートシティの実現に資する技術と実績等
※スマートシティの実現に資する技術については、別紙3の（1）～（7）の技術分野への対応を記載ください

技術の概要・実績等	技術の分野
＜大規模施設・エリアにおける災害時の確実な情報提供体制の整備＞ 森ビルでは、帰宅困難者をはじめとして、レジデンス居住者やオフィスワーカーなど、当社施設・エリアを利用する方に向けて、総合的に発災時における確実な情報提供を行うため、以下の多重化したシステムを導入しています。 1. 帰宅困難者サポートWEB（行政との情報連携） 帰宅困難者避難箇所、指定エリア内においてのみ閲覧可能な、ウェブを利用した情報配信システム。当社は、港区と情報連携協定を締結し、官民連携により「環境情報」、「災害情報」、「広報番組」、「お知らせ」、「緊急情報」の他、「公共交通機関の運行情報」、「防犯情報」等を配信しています。発災時には帰宅困難者にQRコードを配布し、常設されたwi-fiによりモバイル通信機器で閲覧することが可能です。日本語のほか、英語、中国語、韓国語にも対応しており、外国人の帰宅困難者にも配慮しています。 2. 地上波デジタルテレビ等によるエリア放送 当社は、六本木ヒルズにおいて、総務省から地上波テレビ放送の未利用周波数帯域を活用する許可を得ており、エリア放送を配信しています。これにより、前述の帰宅困難者サポートWEBのコンテンツを配信し、災害時に避難所に集まった帰宅困難者へ情報を提供することが可能です。地上波デジタルテレビが有する映像・データ放送の技術を利用することで、インターネット等の通信環境が途絶えた際、あるいは避難者が殺到して回線が錯綜した際にも、一般的なテレビを利用して災害情報を確実に視聴できることが特徴です。 加えて、エリア内のオフィス・住宅においては、館内共聴設備の空き帯域を活用したエリア放送を行っています。災害情報のみならず、施設に関するサポート情報などのコンテンツも配信しており、平時から利用されています。 今後、六本木ヒルズに続いて、2018年度内に虎ノ門ヒルズでの導入を予定しています。	（1） 通信ネットワーク技術とセンシング技術 （7） その他

（2）（1）の技術を用いて解決する都市・地域の課題のイメージ
※課題については、別紙3の（ア）～（シ）の課題分野への対応を記載ください

解決する課題のイメージ	課題の分類
昨今、台風等の自然災害が頻発・激甚化し、また巨大地震のリスクも切迫している中、都市と地方のいずれにおいてもハード・ソフト一体での防災・減災対策のニーズが高まっています。特にソフト面の対策においては、地震や停電、河川氾濫等の際に、高齢者等の弱者に至るまで、いかに住民や施設利用者等にタイムリーに避難情報を伝達するかが課題となっています。 従来の取り組みとしては、屋外のスピーカーによる防災放送や、インターネットによる情報配信が行われていますが、スピーカーによる音声放送は届く範囲に限界があり、またインターネットは災害時に回線が断絶するリスク、あるいは利用者の殺到による不通のリスクがあります。また、各地の放送局からの広域テレビ放送では、その施設・エリアに真に必要なタイムリーな情報を配信することが困難です。 これらの課題を解決するためには、行政からの避難情報や環境情報と合わせて、その施設・エリアに特化した情報をとりまとめ、未利用周波数帯域を活用してエリア内にテレビ配信する当社のノウハウが有効です。 なお、平常時においては観光情報の提供や地域活性化にも資する地域のインフラとして活用することが可能であり、この点においても地域の実情に合わせて柔軟な応用が可能です。	（ウ） 防災 （オ） 観光・地域活性化

（3）その他

〇部局名・担当者・連絡先（電話及びメール）

部局名	担当者	連絡先（電話）	連絡先（メール）
設備設計部 兼 設計推進部	栗又　康史	03-6406-5593	kurimata@mori.co.jp